風を友達に、琵琶湖と遊ぼう！！

びわ湖周遊サイクリングマップ

大津

1:50,000

0 1 2 3km

1:100,000

0 5 10km

奥琵琶湖エリア

このエリアのサイクリングは琵琶湖１周コースの中でも特に母なる湖の自然と出逢える区間です。山と湖と竹生島が織りなす奥琵琶湖の風景を満喫しながら、湖が間近に迫る道路を滑るようにサイクリングを楽しんでください。春には海津大崎にできる桜並木を気持ちよく走れますが、この辺りに連続するトンネルは暗くて狭いので注意が必要です。

大浦から、葛篭尾崎を回るルートからは、眼下に奥琵琶湖の絶景が望めますが高低差がきつくカーブも多いのでこちらは健脚向き、自信のない方は岩熊トンネルでショートカットするルートがお薦めです。塩津浜周辺の国道８号は自歩道がなく見通しも悪いため集落内の旧道を利用してもらう方がよいかもしれません。また、自歩道のない賤ヶ岳トンネルは避け、同じく旧道を走行します。やや高低差はありますが、飯浦側から坂を上りきった場所からの琵琶湖の眺めもいいです。

この先琵琶湖の東側は、瀬田唐橋まで続くさざなみ街道を南下します。まず、木之本町から高月町にかけては、湖岸を離れて余呉川沿いの並木道をしばらく走り、片山トンネルを抜けると再び目の前に琵琶湖が広がります。

高島エリア

北小松から白鬚神社までは、国道161号の山側の自歩道を走行しますが、一部狭い区間があるので注意が必要です。

北船木から木津にかけては、自歩道のある湖岸沿いの道路が続き、快適なサイクリングが楽しめます。途中、道の駅「しんあさひ風車村」が休憩スポットとして最適です。

今津から海津間は、美しい松並木や古い街並みが残る旧街道を走行します。自動車交通は少ないですが、集落内の生活道路ですので、住民の方に配慮してゆっくり走行してください。

長浜エリア

湖北町今西地先の「湖北みずどりステーション」で小休止した後は、水鳥が羽を休める姿を横目に長浜城を目指し、さざなみ街道を軽快にサイクリングを楽しんでください。ただし、尾上集落内と姉川大橋辺りでは、湖側の自歩道が途切れているので注意してください。

この辺りは、琵琶湖の東西の幅が最も広いところで、天気が良くないと対岸が見えず、琵琶湖の大きさを実感できます。奥びわスポーツの森、豊公園、道の駅「近江母の郷」など適当な間隔に休憩スポットがあります。

道の駅 湖北みずどりステーション（地図I-6）

湖北野鳥センター、湿地センターに隣接して設置され、都市と農村の交流の場として全国に向けた情報発信、地場産業の振興をめざした拠点として活用されています。館内には農林水産物や地元特産物の販売所、レストラン、交流研修室があります。２階の研修室からは野鳥センターとはまた違った琵琶湖の眺望が広がり、展望室としても使うことができます。

道の駅 近江母の郷（地図K-8）

湖水に面する宇賀野浜。びわ湖畔のレジャー拠点として、文化型とスポーツ型の両面をもった「学び、憩い、遊ぶ」をテーマとする複合文化施設です。ここに建てられている白壁の建物「くらしの工芸館」は、近江にふさわしく、蔵をイメージして造られています。

和洋それぞれの研究室、浴室、食堂等も設け、宿泊も可能な研修施設としての機能も整備されています。

彦根エリア

彦根に入ると、松原水泳場の松林と彦根港を通過し、彦根城を横目に見ながら市街地部を抜けます。さざなみ街道は自歩道が整備されていますが、湖岸にはりついた集落を迂回するように一部バイパス道路となっていますので、ここは湖岸に近い旧道を選択します。自動車交通が少ないので気持ちよく走行はできますが、駐車車両などには気を付けてください。

三津屋から薩摩にかけては、見事な松並木が３km程続き、大きな松の木の間からは湖面に浮かぶ多景島を望むことができます。

近江八幡エリア

愛知川橋を越え、しばらく進むと山手側に水車が目印の「ささなみ一里塚能登川水車」があるので、休憩スポットとして利用できます。

ここからは湖岸から離れて大中の湖干拓地の中の単調な道が続き、やがて長命寺川沿いの道路を河口まで下ります。この間は、琵琶湖最大の島沖島が間近に見える湖岸道路も利用できますが、自歩道はなく、アップダウンと見通しの悪いカーブが連続しますので、スピードを落として注意しながら走ってください。

長命寺から琵琶湖大橋までは、湖岸堤を兼用する道路が延々と続いています。道沿いのキャンプ場や水泳場をいくつか見送り、遠くは対岸の比良の山々を眺めながら、歩行者がいなければ思い切ってペダルを踏み込んでもいいでしょう。

道の駅 しんあさひ風車村（地図G-8）

琵琶湖沿いの風車街道を走ると３基の大風車がご覧いただけます。大風車が風の力を利用し風力発電を行い、そのエネルギーで水面に設置された水車を回し、それにより水中に空気が送り込まれ、沼の水質が浄化される仕組みに作られています。オランダ風のアイリスハウス、童話をモデルとした遊具等を設けたわらべの森、花菖蒲園、風車村公園などがあります。メイン施設のアイリスハウスには特産物販売所やレストラン、喫茶などがあります。

道の駅 びわ湖大橋米プラザ（地図D-4）

琵琶湖大橋西詰に立つ道の駅びわ湖大橋米プラザは、休憩所、情報発信、地域連携機能等を持った道の駅です。施設内には近江米など県産物を使った豊富なメニューを揃えるレストランをはじめ、滋賀県産の米、野菜といった農産物、水産加工物などの展示販売を行うレイクサイクリングファームや、お土産を扱う売店もあります。琵琶湖に隣接されているので湖畔散策も楽しめ、天気のよい日には展望バルコニーから琵琶湖の景色を眺められます。

琵琶湖大橋（地図D-4）

昭和39年９月に開通した湖東と湖西をつなぐ架け橋です。その後交通量の増加に対応するため、平成６年７月に新橋が併設され今の双子橋の形となりました。景観に配慮され、湖上の船舶交通の運行に支障を来さないよう設計された優美なアーチ型の大橋は周囲の景観に美しく調和し、琵琶湖の魅力を一段と引き立たせています。有料道路(自転車は無料)で全長は東行きが1,400m、西行きが1,350mで最も高いところは約26mにもなります。

近江大橋（地図B-9）

近江大橋は、この地域の渋滞を緩和し円滑な交通を確保するためのバイパスとして昭和49年９月に開通しました。その後交通量増加に対応するため 昭和60年３月に全線４車線の大幹線となりました。全長は1,290mです。

大橋は産業経済や生活に密着した道路として欠くことのできない存在であるだけでなく、柔らかな曲線美を描き、ケヤキの株立ち大木、なぎさ公園、緑地帯ともよく調和する観光道路としても親しまれています。

瀬田唐橋（地図C-11）

「ぐるっとびわ湖サイクリングライン」は大橋、小橋にはさまれた中の島を起終点としています。

近江八景の一つ「瀬田の夕照」として有名で、古くから、「唐橋を制するものは天下を制する」といわれるほど、重要な交通の要衝であり、宇治橋、山崎橋とならんで日本三名橋・日本三古橋の一つにも数えられました。現在のように大橋・小橋の形になったのは、織田信長が架け替えてからといわれています。

昭和54年(1979)に新しく架け替えられましたが以前の姿をとどめ、古風で情緒深い景観です。

大津エリア

大津市晴嵐から浜大津までの約５kmの間は、コースに並行した湖岸沿いに緑地や遊歩道が整備されており、比較の山並みや琵琶湖の景色を眺めながらのんびりと走るのもいいでしょう。

大津京駅から和邇駅までは、湖岸から少し離れますが交通量の多い国道161号を避けてJR湖西線を縫うように走行する複雑なコースとなります。マップと現地の標識を確認しながらコースを間違わないように・・・。途中、浮御堂、道の駅「びわ湖大橋米プラザ」を経由するため、２箇所で国道を横断します。

和邇駅から先は、「びわ湖レイクサイド自転車道」を利用しますが、蓬莱駅から志賀駅の間は、集落内の狭い道路を走行します。自動車交通はほとんどないので、昔のまその風情が残る湖岸道路をゆっくり走れるでしょう。

守山・草津エリア

琵琶湖大橋から近江大橋までの東岸は、やはり湖岸堤を兼用する自転車歩行者専用道路が続いています。湖面までのスペースには緑地公園がたくさん整備されていますので、疲れたところで足を休められます。対岸にある大津市街の高層ビルや比叡山が湖面に浮かんでいます。

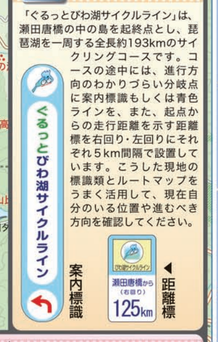
湖岸沿いのさざなみ街道は快適なサイクリングロードであると同時に、信号が少ない快適ドライブコースでもあります。車の速度もついつい制限速度をオーバーしがちなので、車道の横断は要注意です。

凡例

- サイクリングコース
- 〃 サブコース
- びわ湖よし自ロード
- びわ湖レイクサイド自転車道
- 90 KP 距離標
- レンタサイクル
- 自転車店
- キャンプ場
- 温泉
- 公共の宿
- トイレ
- レストラン
- コンビニエンスストア
- 病院
- 府県界
- 市町界
- 新幹線
- JR線
- 私鉄線
- 一般航路
- 国定公園界
- 高速道路
- 有料道路
- 国道
- 主要地方道
- 府県道
- 県庁
- 市役所
- 町役場
- 港湾・漁港
- 工場
- 大学
- 神社
- 寺院
- 城跡
- 博物館・美術館など
- スキー場
- 水泳場
- ゴルフ場
- サイクリングコースの注意点など
- 琵琶湖八景
- 近江八景
- 桜の名所
- 紅葉の名所
- その他の花の名所
- 公園
- 名水
- みどころ
- 道の駅
- ささなみ一里塚
- 冬季閉鎖
- 駐車場

起終点、案内標識、距離標

「ぐるっとびわ湖サイクリングライン」は、瀬田唐橋の中の島を起終点とし、琵琶湖を一周する全長約193kmのサイクリングコースです。コースの途中には、進行方向のわかりづらい分岐点に案内標識もしくは青色ラインを、また、起点からの走行距離を示す距離標を右回り・左回りにそれぞれ５km間隔で設置しています。こうした現地の標識類とルートマップをうまく活用して、現在自分のいる位置や進むべき方向を確認してください。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分１地勢図及び5万分１地形図を使用した。（承認番号 平25近使、第 24 号）」

地図調製：(株)乙坂印刷社